

令和5年6月12日（月曜日）

自民・足立議員

強靱化へ予算確保を

参院災対特別委で質問

自民党の足立敏之参院議員が9日の参院災害対策特別委員会で、災害対策に向けた国の取り組みなどについて質問した。写真。防災の重要性が高まる中、「国



土強靱化基本計画」や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を

継続的に進める重要性を強調。必要な予算の確保を要請した。

足立議員は加速化対策について「3年度目で既に70%の予算を消化していると言われており、これらの予算の継続が必要だ」と指摘。必要な予算の確保に向けて、谷公一国土強靱化担当相に決意表明を求めた。

谷担当相は今夏をめどに新たな国土強靱化計画を策定する方針などを説明。5年加速化対策後についても「継続的、安定的に強靱化への取り組みを進めていくことが大変重要だ」として

「さまざまな方向を注視しながら、国土強靱化の確実な推進に向けて、引き続き強力に取り組みを進めていきたい」と述べた。

気候変動の影響で激甚化する大雨災害に対し、流域治水施策の進め方についても説明を求めた。国土交通省の岡村次郎水管理・国土保全局長は「既設ダムの有効活用や新規ダムの整備など、あらゆる選択肢を排除せず検討を行っていく必要がある」と答弁。「治水対策の効果を早期に発現するためにも河川整備の加速化を図っていく」と述べた。

建設通信新聞

足立参院議員

ポスト5か年対策は必要

災害対策特別委で質問



は、9日に開かれた参院災害

対策特別委員会、「防災・

減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の後継となる「ポスト5か年対策」の必要性を示し、政府の見解を質問した。写真。谷公一防災担当相は、国土強靱化実施中期計画の法定化を柱とする議員立法の国土強靱化基本法改正案が今国会で審議されている

ことに言及した上で、「政府としては、さまざまな動向を注視しながら、国土強靱化の着実な推進に向けて引き続き強力に取り組みを進めていきたい」と答弁した。

足立議員は、5か年加速化対策の被害抑制効果を示し、「3年度目で既に70%の予算を消化している。予算の継続が必要」と主張した。これに対し、谷防災担当相は「5か年加速化対策後も中長期的かつ明確な見通しの下、計画的・安定的に強靱化への取り組みを進めていくことが大変重要」との認識も示した。

足立議員はこのほか、台風2号と梅雨前線による5月31日から2日にかけての大雨、5月に発生した石川県能登半島を震源とする地震の二つの災害に触れ、流域治水、地震による家屋被害への対応、高い規格の道路整備について、国土交通省と谷防災担当相に質問した。

足立議員は、5か年加速化対策の被害抑制効果を示し、「3年度目で既に70%の予算を消化している。予算の継続が必要」と主張した。これに対し、谷防災担当相は「5か年加速化対策後も中長期的かつ明確な見通しの下、計画的・安定的に強靱化への取り組みを進めていくことが大変重要」との認識も示した。